

士別市の介護従事者 人材確保対策の取り組み



移住者就労支援

市外からの移住者が市内の介護事業所に就労した場合に、特定の期間の経過時に支援金を支給します。

実習生等受入

実習生受け入れに要する費用の一部を補助します。

研修費補助

従事者の資質向上や従業員教育にかかる研修費用の一部を補助します。

介護ロボット導入

事業者が介護ロボットを導入した場合に、その導入費用の一部を補助します。

Power up!

各種人材確保事業

2024年度から補助金額の上限額を引き上げています。

研修受講料貸付金

介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修の受講費用の一部を貸付します。(償還免除制度あり)

貸付金事業、
職場体験も!

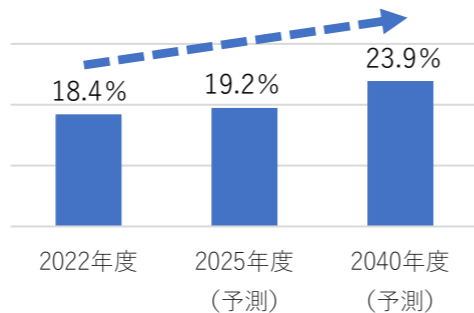
介護職場体験

市内高校生を対象に介護職場体験を行います。

奨学資金返還支援

士別市に居住し、就労する方が、大学の在学中に貸与を受けていた奨学金を返還するための経費に補助します。

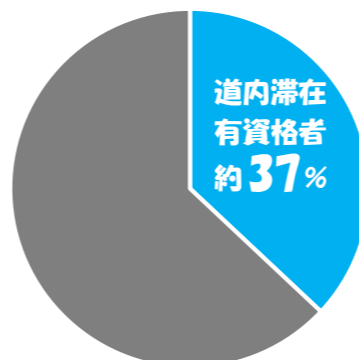
要支援・要介護者認定率の推移



要介護(要支援)認定者数は、当面1,300人台で推移する見込みですが、高齢者人口の減少と比較して、認定率は少しずつ上昇していくことが予測されています。

潜在介護有資格者

北海道の介護職の有資格者は年々増加していますが、資格を取っても実際に働いていない方の割合も多いことも人材不足の原因と考えられます。(※北海道介護のしごとポータルサイトより引用)



介護従事者不足は全国的な問題となっており、2025年度には約243万人(＋約32万人)の介護人材を確保する必要があるといわれています。国においては、介護職員の処遇改善、多様な人材の確保・育成、離職防止・定着促進・生産性向上、介護職の魅力向上、外国人材の受入環境整備など総合的な人材確保に取り組んでいます。

本市においても、生産年齢人口が減少し、働き手の確保が難しくなる中、介護サービスの需要が一層高まることが見込まれており、介護従事者不足の解消が重要な課題となっていますが、不足数は40人程度と、依然として従事者の充足には至っていません。介護ロボット・ICT等の活用など、北海道と連携しながら生産性向上の取り組みを進めていくとともに、介護の担い手の裾野を広げていくため、確保・定着・育成に関する施策を、事業所や学校などの関係機関と連携しながら、総合的に展開します。

具体的には、移住者就労支援や介護ロボット導入支援など、既存事業を継続していくことに加えて、「従事者確保緊急支援事業」を実施しています。

士別市の高齢者・介護の現状について

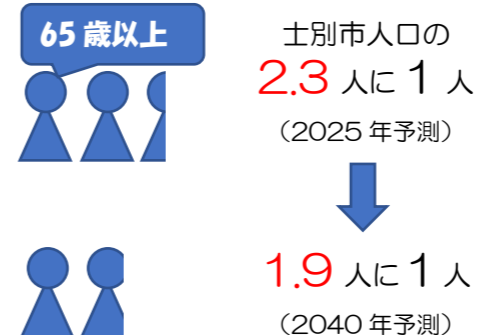
士別市では、全国・全道平均を上回る水準で高齢化が進んでいます。

士別市人口に対する高齢化率は、2025年には44.2%、2040年には51.8%を占めると予測されています。

(北海道は2025年33.7%、2040年39.7%)

※社人研「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」より引用

人口に対する高齢者の割合



Point!

介護助手も支援対象です!

就労支度金

新規就労決定時(就労開始前)に、就労準備のための支度金を支給します。

従事者確保・定着支援

市から事業内容を指定せず、事業所各自で工夫して行う様々な取組を支援します。

家賃支援

市外から転入または新卒の方で、新たに介護事業所等に就職した場合は、家賃の一部を補助します。



リスタート支援

3ヶ月以上休職していた方が、介護事業所等へ再就職した際に給付します。

New!

従事者確保緊急支援事業

時限的な取り組みとして、介護人材の緊急的な確保を目指します。